

愛媛県立松山北高等学校中島分校

第 78 回 入学式

式 辞

瀬戸内の海を吹き渡る風、海の色、島々の草木の若葉にも春の息吹を感じられる今日の佳き日に、御来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和7年度愛媛県立松山北高等学校中島分校 入学式を挙行できますことは、在校生並びに教職員一同にとりまして大きな喜びであります。学校を代表してお礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました 26 名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。この中島分校をよくぞ選んでくれました。

昨年北高に赴任した私は、基本的には本校に常駐しています。もちろん、分校の校長でもありますから、時々分校に来させてもらいますが、来るたびに心を大きく揺さぶられ、感動して泣いています。なぜ涙が出てくるのか。それは、後ろに座っている先輩たちが、本当によく頑張っていることが伝わるからです。たまにやってきたおいさんが、高校生の活動を見て泣くって。凄いと思いませんか。友澤前校長先生も、この分校に魅了されて、本日もご列席いただいています。文武両道という言葉はよく聞くとありますが、松山北高校の校訓には「心」が加わっています。「文・武・心」です。分校は、友人だけでなく、教職員、地域の方々との距離が

近い将来、多くの方々と心の交流ができ、刺激を受けることができます。心を育てるには、大規模校より、適しているかもしれません。また、電車と船を乗り継いで大変だと思えるかもしれませんが、その通学時間も、プラスに捉えることができます。予習・復習の時間にすることも可能ですし、読書や英語のリスニング、友人との会話を楽しむこともできます。これから、電車や船の時間をどう過ごすか、考えてみてください。

78年目を迎えたこの中島分校には、創立当時から「無から有を創り出す」という校是があります。創立に際して、向学心に燃える先人が、町や地域の人々を動かして高等学校設置の請願を行い、創られた学校です。世の中が急速に変わっていく今こそ、当時から継承されてきた「開拓者精神」が必要です。皆さんの個性を伸ばせるこの分校から、新たな社会を創造することに貢献できる人材が育つことを願っています。

保護者の皆様、お子様のご入学、まことにおめでとうございます。お子様の成長を願い、深い愛情を注がれ、ともに喜び、辛いことも分かち合う中で、親として支え、励ましてこられたことに、深く敬意を表します。不安なお気持ちもあると思いますが、お子様と保護者の皆様のお気持ちに、我々教職員が寄り添うことができたなら幸いです。一方で、高校時代は、親離れ・子離れの時期だとも思っています。実際にもうすぐ18歳を迎え、法律上は大人になります。多くの困難に出会いながらも、お子様は最終的には自力で乗り越えていかなければなりません。親には、その覚悟をしなければならぬ時期が近づいているのだらうと思います。

新入生の皆さん、この春に卒業した先輩の中には、新潟大学に合格した卒業生、去年は滋賀大学にも合格しました。勉学や部活動、友人や地域の方々との交流、そして教職員との触れ合いで、明るい未来が開かれます。中島分校での生活が、かけがえのない財産になることを祈念して、式辞いたします。

令和7年4月8日

愛媛県立松山北高等学校長 井上 浩